SabreII Guitar ¥238,000

"セイバーII"はプロフェッショナルギタリストに非常に多くの可能性を提供する。なぜならプレイの個性や運指の好み、弦の選択など、数多くのニーズに充分に応えられるだけのスペックを持っているからだ。細かな部分にまで注目すればその特色がより理解できると思う。全てのギターはミュージックマンのクラフトマンの手と、スペシャリストの意見により独自に設計、製造したミクロン単位までの精密な加工が可能なマシーンによって創り出している。これによりギターに関係するあらゆる要素を最良の状態に保つ事ができ、充分にコントロールされたサステイン、確かなイントネーションをミュージックマンのものとしている。さらにこれを強力にしているのがアクティブトーンコントロールサーキットだ。そして、これらによってより強いインパクトを与える楽器にと仕上がっているのだ。

コントロールは上からボリューム、トレブル、ベース。ミニスイッチは白がフェイズ、黒がブライト。アクティブトーンコントロールサーキットと合わせ比類なき音創りが可能だ。

SPECIFICATIONS
フレット数：22
スケール：648mm
寸法：全長――1012.8mm
：最大幅――330.2mm
：厚さ――ネック20.3mm
ボディ40.0mm
ピックアップ：パーフェクトシールディング
オリジナルデザイン
ハムバッキング×2
プリアンプ部：マスターボリューム×1
トレブルコントロール×1
ベースコントロール×1
3ポジションセレクター×1
フェイズスイッチ×1
ブライトスイッチ×1
出力：2.3V(Hi2受け)、
1.36V(Lo2受け)
電源：006pi9V×1
指板インレイ：指板、サイド共ドット
ネック：ハードロックメイプル
指板：メイプルor ローズウッド
指板アール：190.5R
フレット：ミディアムラウンド
ボディ：アッシュor ポプラ
フィニッシュ：ハイグロスラッカー
ハードウェア：クロームメッキ
ブリッジ：ダイキャストタイプ
サドル：ステンレススチール
糸巻：テーパーポスト、
セルフテンションニングタイプ
カラー：サンバースト、ブラック
ウォルナット、ホワイト

THE FACE OF OUR POLICY

50RD Series

50RDシリーズには2つの画期的なシステムがマウントしてある。1つはチューブリミッターシステムで、このシステムの構成にはゲインボリュームで確実にコントロールが行なえる真空管が大きな役割を果たしている。これによりボリュームレベルに関係なくサステイン豊かなオーバードライブサウンドが生み出せ、しかもサウンド的にも充分なコントロールが行なえるシステムとなっている。もう1つはクリーンステージ&リミッターステージシステムで、シングルチャンネルながらプリアンプを2ステージに分ける事により、従来の2チャンネルアンプに匹敵する働きと広いサウンドバリエーションを得ている。クリーンステージはソリッドステート構成でまさにクリーンサウンドを生み出し、リミッターステージはチューブリミッターシステムにより、あらゆるオーバードライブサウンドが生み出せるようになっている。ステージの切替はフロントパネル上のスイッチ、または付属のフットスイッチによって行なえる。ブライトスイッチとリバーブコントロールは両方のステージに作用する。

65RD, 100RD Series

65RD、100RDシリーズは従来のディストーション内蔵アンプと違い、フットスイッチによって切替えが行なえる2組のGAIN & VOLUMEコントロールにより、好みに合わせた2種類のサウンドセッティングを行うようになっている。つまり、異なったパワーレベル、異なったディストーションレベルを自由にコンビネーションさせる事が可能なのだ。フットスイッチコントロールと書かれたGAIN & VOLUMEはフットスイッチON時に働き、その動作はインジケーターによって確認できる。サウンドバリエーションはもちろんクリーンからフルディストーションまでをカバーするワイドなシステムだ。このRDには2組のLINE IN & OUTが設けてある。1つはギター用エフェクターなどに合わせた100mVのIN & OUT、もう1つはラインレベルでの使用が行なえる3VのIN & OUTで、これによりエフェクトループ、スレイブアウトなど発展的なシステムを創り上げる事が可能だ。IN & OUTはステレオジャックを使用してあり、チップ部がイン、リング部がアウトとなっている。2頭プラグによりワンタッチで接続可能だ。

65RP, 100RP Series

これらRPシリーズのRはリバーブを意味し、アンチショックZスプリングレイアウトのリバーブユニットを内蔵している。このユニットはコンパクトながら大ホール的なリバーブ効果を生み出し、サウンドに優雅な広がりと深みをプラスする優れた物でクリアーさにおいても定評がある。そしてPはフェイズシフターを意味している。なめらかなフェイザー効果が得られるこのフェイズシフターは4ステージ構成とされ、プリアンプ部の出力レベルにおいてドライブを行うことにより、ローノイズでダイナミックなサウンドを生み出せる。サウンドコントロールとしてGAIN & VOLUMEシステムも欠かせない。これによりクリーンからフルディストーションサウンドまで思いのままとなる。リバーブとフェイズシフターはフットスイッチによりON－OFFが可能だ。2組のLINE IN & OUTはRDシリーズと同様、ギターレベルのエフェクターやスタジオ用エフェクターなどをループ接続でき、全てにわたってローノイズ、ハイクオリティでパワフルなサウンドクリエイトを大きなポイントとしている。

75R, HD150R Series

75R、HD150Rシリーズはチューブ独特のウォームなパワーとソリッドステートならではのシャープなトーンの効きを持ったギターアンプだ。このシリーズは全て2つのインプットチャンネルを持ち、フットスイッチでON－OFFが行なえるリバーブとフェイズシフターを内蔵している。チャンネル1には2つのインプット、ボリュームとトレブル、ベースのEQコントロールがあり、チャンネン2には、チャンネル1のコントロールに加えて、ミドルEQ、ブライトスイッチ、リバーブ、フェイズシフターをセットしてある。ディープスイッチとマスターボリュームは両チャンネルに作用し、トータルなサウンドのコントロールが行なえる。75Rと HD150Rの違いは出力の違いであり、75Rが75WRMS、HD150Rが150WRMSのパワーを持っている。このシリーズのフェイズシフターには画期的なマニュアルシフトが付いている。レイトコントロールをプルする事によりフェイジングの移動がそのサウンドを出したままストップし、フェイザーのシフトを自由にコントロールするフェイズフィルター効果が得られるのだ。

212-75, 212HD150Model

75R、HD150Rシリーズの特長、そしてミュージックマンアンプ全ての特長といえるチューブ独特のウォームなパワーとソリッドステートならではのシャープなトーンの効き、これらをフルに発揮させるためにあるのがビルトインタイプのギターアンプ212－75、212HD150モデルだ。基本的な性能は75R、HD150シリーズのものをそのまま持ちながら、さらに充実した機能をこの2台のモデルにだけ持たせてあり、よりトータライズされたサウンドが得られるようになっている。75R、HD150シリーズより充実させた機能というのはチャンネル1に加えたブライトスイッチとミドルEQであり、これにより両チャンネルの音質コントロールがより細かく行なえるようになっている。ディレイエフェクトのドライ音とディレイ音に独立したトーンコントロールを行う場合や、システムループを組むといったプロフェッショナルな用途において最高に威力を発揮するアンプなのだ。212HD150にはビルトインアンプとしては最高峰に位置するエレクトロボイススピーカーをマウントしたモデル212HD150EVMもある。

75 Model

75モデルはミュージックマン唯一の2チャンネル仕様を持ったベースアンプヘッドだ。同シリーズのギターアンプと同じく、チューブパワーアンプ部、ソリッドステートプリアンプ部を持ち、シャープなトーンの切れと、ウォームなパワー感が特長となっている。2つのインプットチャンネルはチャンネル1がノーマルインプット、チャンネル2がベースインプットで、それぞれEQのポイントセッティングを変えてある。ノーマルインプットはトレブル3.3KHz、ミドル460Hz、ベース65Hzのセンター周波数を持ったEQセッティング、ベースインプットはトレブル3.3KHz、ミドル325Hz、ベース32Hzのセンター周波数を持ったEQセッティングとし、重厚なベースの音域に合せたトーンセッティングを可能としている。当然の事ながらリバーブとフェイザーは付いていない。ミュージックマンアンプの65、75、100、150シリーズのパワースイッチにはHIポジションとLOポジションが付いている。HIポジションが通常の使用位置、オーバードライブパワーが必要な場合にはLOポジションにて使用すると良い。

100B Model

100Bモデルはハイクオリティなプロフェッショナルスペックを満載させた最高級ベースアンプヘッドだ。ソリッドステートプリアンプ部、チューブパワーアンプ部を基本として持たせたストレートにナチュラルウォームなサウンドを生み出す。この基本性能の高いサウンドに充実したイコライジングセクションを持たせ、可能な限りのサウンドバリエイションをプラスしてしまうのだ。イコライジングセクションはパラメトリックタイプと5バンドタイプのコンビネーションであり、6HzBB18dBのトレブル、75HzBB13dBのベース、170Hz－4KHzのパラメトリックミッドレンジ67Hz、184Hz、510Hz、1.4KHz、3.8KHzのセンター周波数、BB15dBというスペックだ。これらイコライザーセクションは全てセンターゼロのシェルビングタイプコントローラーとなっている。ラインアウトコントロールをフロントパネルに設けてあるのも大きな特長だ。バランスアウトはそのままコンソールにインプットできスタジオ、ライブで威力を発揮する。ラインアウトレベルはプリEQ、ポストEQをその用途によって使い分け可能だ。

120B Series

120Bシリーズはミュージックマン初のオールソリッドステート構成によるベースアンプで、効果の大きなプリアンプ部、5バンドイコライザー部、クリーンなパワーアンプ部から成っている。インプット部にはデュアルスレッショルドリミッター回路があり、軽いリミッターサウンド、強いコンプレッションサウンド、ノーマルサウンドのセレクトが行なえる。ボリューム回路はどのような音量においてもノイズレベルを最少とする入力感度と出力レベルを同時にコントロールするシステムを用い、高いS/N比を得ている。トーンコントロールはセンターゼロタイプとし、6KHzBB18dBのトレブル、75HzBB13dBのベースとなっている。ON/OFF可能なイコライザーセクションは67Hz、184Hz、510Hz、1.4KHz、3.8KHzのセンター周波数を持った5バンドタイプ、センター位置でフラットとなりBB15dBのコントロールレンジを持っている。これらのプリアンプセクションにはウォームなチューブアンプ的サウンドがどの様なボリュームレベルにおいても生み出せるソフトクリッピング回路を使用し、素晴しい効果を発揮している。